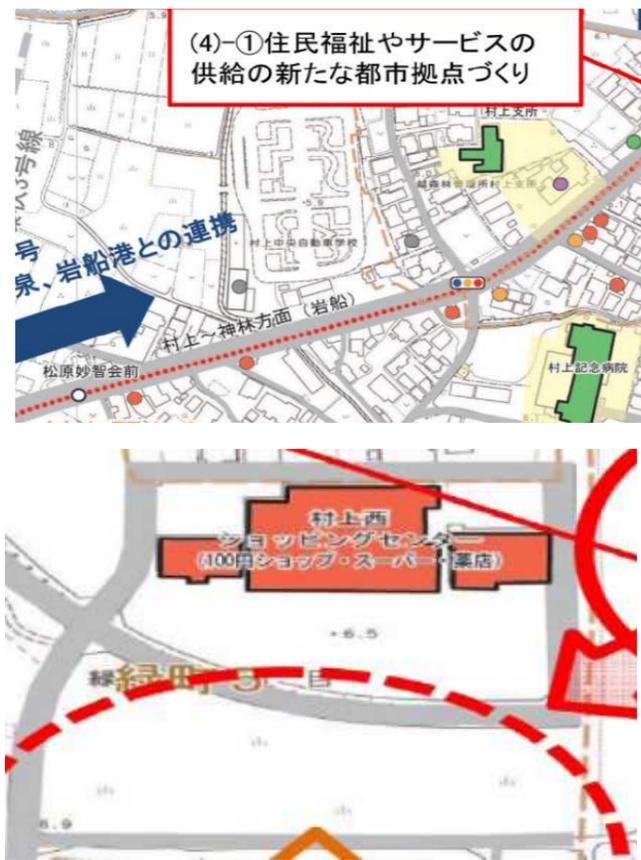


誤字、脱字等による訂正・追加一覧表

No.	頁	訂 正 内 容 等	備 考
1	1	第1背景と目的の以下の文言に括弧を追加 まちづくりプランは、第1次村上市総合計画及び村上市都市計画マスタープランの方針に則り、 → まちづくりプランは、「第1次村上市総合計画」及び「村上市都市計画マスタープラン」の方針に則り、	
2	6	参考・村上駅周辺地図の現況図を以下のとおり訂正 ①施設名訂正…松原妙智会前→松山妙智会前 ②施設名表示場所変更…下越森林管理署 村上支所 ③建物着色…下越森林管理署 村上支所 ④施設名追加…村上市社会福祉協議会居宅介護支援村上 	
2	22	村上駅周辺地区の将来まちづくり方針図を以下のとおり訂正 ①施設名訂正…松原妙智会前→松山妙智会前 ②施設名表示場所変更…下越森林管理署 村上支所 ③建物着色…下越森林管理署 村上支所 ④施設名追加…村上市社会福祉協議会居宅介護支援村上 ⑤見出し追加…村上総合病院移転候補地 	
4	34	■現況及び問題点・課題の以下の文言訂正 ＜駅西地区からの村上駅へのアクセス(鉄道横断箇所)＞ ・歩行者が駅西地区から村上駅にアクセスするには村上温泉跨線橋を経由するルートが最短であるが、 → ■現況及び問題点・課題の以下の文言訂正 ＜駅西地区からの村上駅へのアクセス(鉄道横断箇所)＞ ・歩行者が駅西地区から村上駅にアクセスするには瀬波温泉跨線橋を経由するルートが最短であるが、	
5	35	＜参考資料＞写真の名称訂正 【参考:JR 豊栄駅】 → 【参考:JR 亀田駅】	
6	37	■施策概要・取り組み方針の以下の文章に文言追加 ＜施策概要＞ 駅西側の駅前ロータリーの新設、駅東西の連絡通路整備との連携実施 → ＜施策概要＞ 駅西側の駅前広場ロータリーの新設、駅東西の連絡通路整備との連携実施	
7	37	■施策の評価指標の以下の数字訂正 ①駅前広場内のバリアフリー化率[%]／③自転車収容台数[台] → ①駅前広場内のバリアフリー化率[%]／②自転車収容台数[台]	
8	41	■施策概要・取り組み方針の以下の文章に文言追加 ＜施策概要＞ 駅西側の駅前ロータリーの新設、駅東西の連絡通路整備との連携実施 → ＜施策概要＞ 駅西側の駅前広場ロータリーの新設、駅東西の連絡通路整備との連携実施	
9	42	■現況及び問題点・課題の以下の文言訂正 ＜駅西地区からの村上駅へのアクセス(鉄道横断箇所)＞ ・歩行者が駅西地区から村上駅にアクセスするには村上温泉跨線橋を経由するルートが最短であるが、 → ■現況及び問題点・課題の以下の文言訂正 ＜駅西地区からの村上駅へのアクセス(鉄道横断箇所)＞ ・歩行者が駅西地区から村上駅にアクセスするには瀬波温泉跨線橋を経由するルートが最短であるが、	
10	44	＜参考資料＞写真の名称訂正 【豊栄駅 西口広場の歩行者通路】 → 【亀田駅 東口広場の歩行者通路】	

誤字、脱字等による訂正・追加一覧表

No.	頁	訂 正 内 容 等	備 考	
11	60	<p>■現況及び問題点・課題の以下の文言削除 <新たな賑わいの場づくり> ・一般市民を対象としたアンケートでは、JR 村上駅及び駅前地区 (図参照)を活性化しにぎわいのあるまちにするためのソフト的な取 り組みとして、</p>	<p>→ <新たな賑わいの場づくり> ・一般市民を対象としたアンケートでは、JR 村上駅及び駅前地区を 活性化しにぎわいのあるまちにするためのソフト的な取り組みとし て、</p>	
12	87	<p>■現況及び問題点・課題の以下の文言訂正 <駅西地区からの村上駅へのアクセス(鉄道横断箇所)> ・歩行者が駅西地区から村上駅にアクセスするには村上温泉跨線 橋を経由するルートが最短であるが、</p>	<p>→ ■現況及び問題点・課題の以下の文言訂正 <駅西地区からの村上駅へのアクセス(鉄道横断箇所)> ・歩行者が駅西地区から村上駅にアクセスするには瀬波温泉跨線 橋を経由するルートが最短であるが、</p>	
13	89	<p>※庁内推進会議の議題の以下の文言訂正 (1) 村上駅周辺まちづくりプラン等庁内調整会議の概要</p>	<p>→ (1) 村上駅周辺まちづくりプラン等庁内推進会議の概要</p>	
14	94	<p>②開催状況の以下の文言訂正 議題</p>	<p>→ 議事内容</p>	
15	94	<p>②開催状況に第9回の開催日及び議事内容を追加</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>第9回 (平成27年2月16日)</p> </div> <p>○まちづくりプラン基本構想について ・パブリックコメントについて ・村上駅周辺まちづくりプラン(基本構想) ・概要版について ・答申書について</p>		

第1章 計画の策定にあたって

第1節 策定の目的

第1 背景と目的

村上市では、厚生連村上総合病院（以下「村上総合病院」）が村上駅西側に移転する計画があり、現村上駅前の区域が、空洞化、衰退しないよう移転後の跡地利用策や活性化策、及び駅周辺の土地利用や施設整備について検討する必要があることから、村上駅周辺のまちづくりを推進するための基本的な方針及び計画として「村上駅周辺まちづくりプラン」（以下「まちづくりプラン」）を策定します。

まちづくりプランは、「第1次村上市総合計画」及び「村上市都市計画マスタープラン」の方針に則り、駅西口の開設も考慮した駅の東西間移動に係る整備や、市民の利便性の向上を図る駅の西側の整備、及び村上総合病院移転後の跡地利用を柱としたハード面の整備と、活性化のためのソフト事業について計画するものです。

なお、まちづくりプランで計画された施策は、村上駅周辺のまちづくりの基本方針実現のための構想であり、施策の実施については、その時点での本市の財政状況、社会情勢を考慮し、実施の可否、実施時期、施策の詳細部分、活用できる国県の支援事業等を改めて検討することとなります。

第2節 計画の位置づけ

第1 計画の位置づけ

村上駅周辺まちづくりプランは、上位計画である「第1次村上市総合計画」および「村上市都市計画マスタープラン」に基づき、村上駅周辺地区のまちづくりに関わる基本的な方針を定めるとともに、その実現に必要な具体的な施策・取り組みを定めるものです。

なお、計画の推進にあたっては、村上市景観計画等の関連計画や各種個別計画・事業等との連携・調整を図ります。

第2 対象区域・計画期間

概ね村上駅を中心とした半径500m圏内の村上駅周辺地域を対象区域としていますが、地域住民の利便性の向上や安全性の確保、商業・観光などが活性化されるために必要な施設や、道路などのインフラ整備も想定されることから、施策によっては半径500m圏内を超えるものも含まれます。

計画期間は、10年を想定していますが、前述したとおりその時点での本市の財政状況、社会情勢を考慮し検討することとします。

参考・村上駅周辺地区の現況図

凡 例	
●	店舗
●	飲食店
●	宿泊施設
●	行政施設
●	文化・教育施設
●	医療・福祉施設
●	交通施設
●	金融・郵便施設
●	その他施設
■	大規模公共施設用地
○	バス停留所
●●●●	バス路線網
□	用途地域界
---	町丁界・町丁名
■	H12
■	H17 国勢調査人口(人)
■	H22

注1: 図面は住宅地図(ゼンリン電子地図: 2011年5月版)をもとに作成。(※現地確認調査は行っていない。)
注2: 建物形状表示は建築面積500㎡以上の建築物とした。

■はまなす病院
病床数: 222床
診療科目: 内・精・神・歯

■瀬波病院
病床数: 92床
診療科目: 内・外・産・リハ

■村上駅前地区のイベント
・万葉神楽祭(はらちかん) (6月頃)
・軽自動車ふるさとあい運動会
(月1回程度・村上地域振興局駐車場)
・村上駅前イルミネーション(県)
・SL村上ひな街道号(3月)
・SL村上原風まつり号(9月)

■村上地区のイベント
・元日マラソン大会(1月)
・町屋の人形さき巡り(3~4月)(H24入込: 約12万人)
・十輪寺えんま堂の奇童市(3~10月/毎月第4日曜)
・村上大祭(7月)(H24入込: 約6万人)
・地蔵祭(7月)
・村上まつり(9月)
・町屋の原風まつり(9~10月)
・宵の竹灯籠まつり(10月)
・いっぴつか村上(10月頃)
・鮎川引き道場(11~12月)
・大瀧市(毎月2と7のつく日)
・村上どんぶり合戦(連年)
・村上スイーツめぐり(連年)

■村上駅から半径1000m
(H22国勢調査人口: 10,083人)

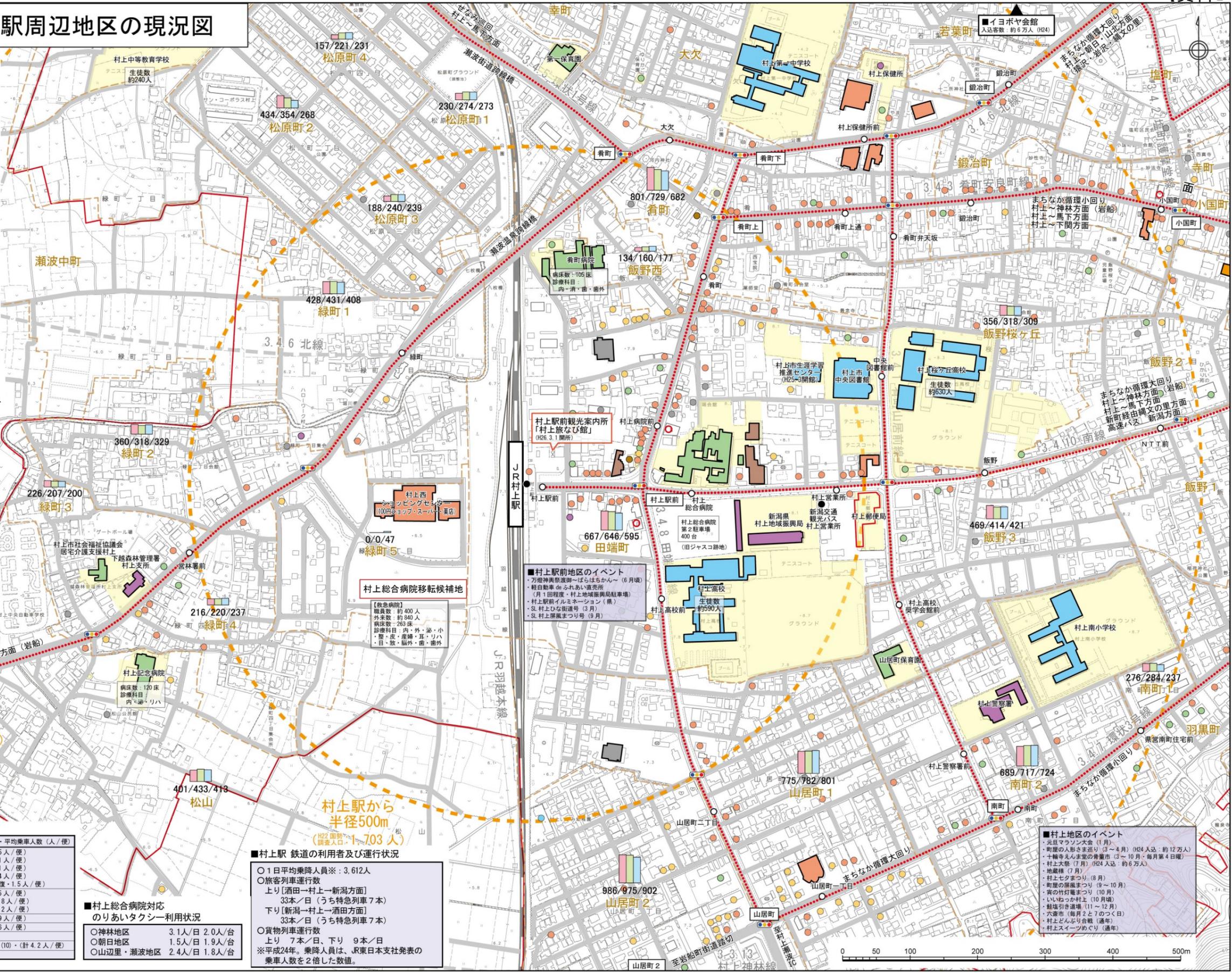
■村上駅 鉄道の利用者及び運行状況

○1日平均乗降人員※: 3,612人
○旅客列車運行数
上り[酒田→村上→新潟方面]
33本/日(うち特急列車7本)
下り[新潟→村上→酒田方面]
33本/日(うち特急列車7本)

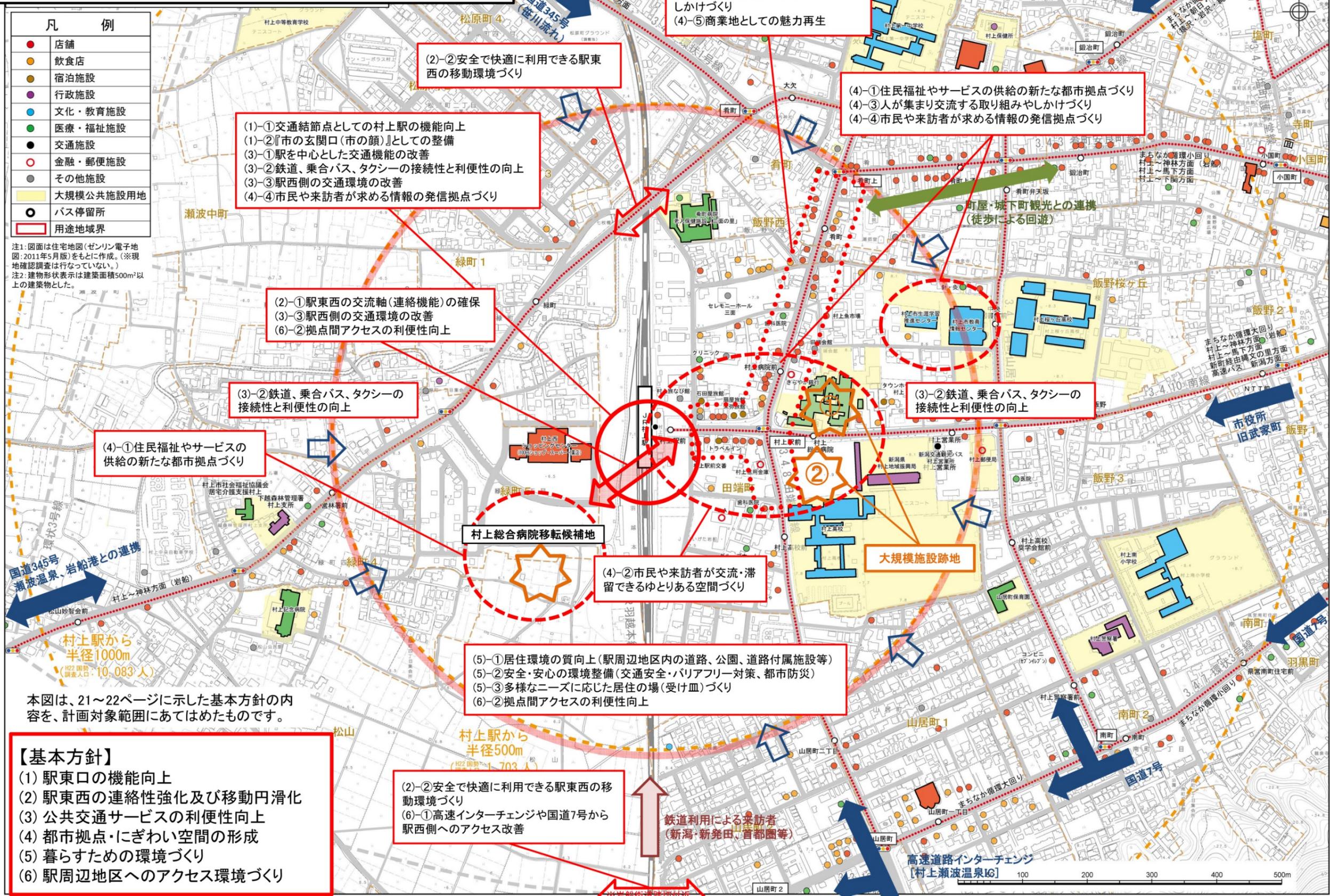
○貨物列車運行数
上り 7本/日、下り 9本/日
※平成24年。乗降人員は、JR東日本社発表の乗車人数を2倍した数値。

■村上総合病院対応のりあいタクシー利用状況	
○神林地区	3.1人/日 2.0人/台
○朝日地区	1.5人/日 1.9人/台
○山辺里・瀬波地区	2.4人/日 1.8人/台

■路線バス等運行・利用状況	
村上→朝日・山北方面(鶴沢・岩沢・横文の里)	北中(4往復・3.5人/便) 塩野町(5往復・4.1人/便) 大須戸(4往復・4.1人/便) 高根(5往復・2.4人/便) 横文の里朝日(6往復・1.5人/便)
村上→神林方面(岩船)	岩船駅(3往復・3.5人/便) 松原(10往復・2.8人/便) 小岩内(1往復・12.2人/便)
村上→馬下方面	馬下(2往復・3.9人/便)
村上→下関方面	下関(4往復・0.6人/便)
高速バス 新潟方面	新潟(2往復・)
まちなか循環バス	大回り(5)/小回り(10)(計4.2人/便)
せなみ巡回バス	(4便・)



村上駅周辺地区の将来まちづくり方針図



凡 例	
● (赤)	店舗
● (黄)	飲食店
● (茶)	宿泊施設
● (紫)	行政施設
● (青)	文化・教育施設
● (緑)	医療・福祉施設
● (黒)	交通施設
○ (赤)	金融・郵便施設
○ (黒)	その他施設
■ (黄)	大規模公共施設用地
○ (黒)	バス停留所
□ (赤)	用途地域界

注1: 図面は住宅地図(ゼンリン電子地図: 2011年5月版)をもとに作成。(※現地確認調査は行っていない。)
 注2: 建物形状表示は建築面積500m²以上の建築物とした。

本図は、21～22ページに示した基本方針の内容を、計画対象範囲にあてはめたものです。

- 【基本方針】**
- (1) 駅東口の機能向上
 - (2) 駅東西の連絡性強化及び移動円滑化
 - (3) 公共交通サービスの利便性向上
 - (4) 都市拠点・にぎわい空間の形成
 - (5) 暮らすための環境づくり
 - (6) 駅周辺地区へのアクセス環境づくり

(1)-①交通結節点としての村上駅の機能向上
 (1)-②『市の玄関口(市の顔)』としての整備
 (3)-①駅を中心とした交通機能の改善
 (3)-②鉄道、乗合バス、タクシーの接続性と利便性の向上
 (3)-③駅西側の交通環境の改善
 (4)-④市民や来訪者が求める情報の発信拠点づくり

(2)-①駅東西の交流軸(連絡機能)の確保
 (3)-③駅西側の交通環境の改善
 (6)-②拠点間アクセスの利便性向上

(3)-②鉄道、乗合バス、タクシーの接続性と利便性の向上

(4)-①住民福祉やサービスの供給の新たな都市拠点づくり

村上総合病院移転候補地

(4)-②市民や来訪者が交流・滞留できるゆとりある空間づくり

(5)-①居住環境の質向上(駅周辺地区内の道路、公園、道路付属施設等)
 (5)-②安全・安心の環境整備(交通安全・バリアフリー対策、都市防災)
 (5)-③多様なニーズに応じた居住の場(受け皿)づくり
 (6)-②拠点間アクセスの利便性向上

(2)-②安全で快適に利用できる駅東西の移動環境づくり
 (6)-①高速インターチェンジや国道7号から駅西側へのアクセス改善

(4)-③人が集まり交流する取り組みやしかけづくり
 (4)-⑤商業地としての魅力再生

(4)-①住民福祉やサービスの供給の新たな都市拠点づくり
 (4)-③人が集まり交流する取り組みやしかけづくり
 (4)-④市民や来訪者が求める情報の発信拠点づくり

(3)-②鉄道、乗合バス、タクシーの接続性と利便性の向上

大規模施設跡地

鉄道利用による来訪者(新潟・新潟田、首都圏等)

高速道路インターチェンジ【村上瀬波温泉IC】

■基本方針	2. 駅東西の連絡性強化及び移動円滑化	
■施策	a 駅東西を連絡する通路の整備	
■No.	5	■取り組み名 連絡通路整備

■現況及び問題点・課題

<駅西地区からの村上駅へのアクセス（鉄道横断箇所）>

- ・歩行者が駅西地区から村上駅にアクセスするには瀬波温泉跨線橋を経由するルートが最短であるが、エレベーターが未設置のため車椅子の利用は不可能である。岩船街道踏切を経由する場合は、鉄道と平面交差するうえ移動距離が長いほか、一部歩道未設置区間もある。このため高齢者や車いす利用者が実際に利用することは考えにくく、駅西地区の交通弱者が村上駅にアクセスすることは困難な状況にある。

<駅東西を結ぶ通路の必要性>

- ・現在、村上駅付近で東西を行き来する歩行者・自転車のための通路は存在しておらず、駅から離れた跨線橋や踏切を利用しなければ鉄道を横断することができないことから、特に歩行や自転車での移動において東西間の連絡に問題があり、周辺住民等の満足度も低い状況にある。
- ・将来的に村上総合病院が駅西側に移転する計画もあるが、アンケートでは駅西地区の住民からも「遠回り不便」という声があり、鉄道利用者や駅東口住民等が移転後の病院へ移動するための通路の整備は欠かせない。
- ・なお駅構内において通路等を鉄道事業者（JR）以外で整備する場合は、自由通路整備と併せて駅舎の橋上化を基本とし、交通結節点として駅の機能が向上することが条件となっている。

■施策概要・取り組み方針

<施策概要> 東西を連絡する歩行者・自転車通路の整備

<取り組み方針>

- 村上駅の東側と西側を連絡する歩行者及び自転車用通路を整備することが望ましい。
- 通路整備に際しては、バリアフリーへの配慮などにより利便性や安全性の確保が望ましい。

■取り組み内容

No	取り組み名[仮称]	内 容
5	連絡通路整備	鉄道を挟んで東西を連絡する歩行者・自転車専用の通路を整備 ※連絡通路の整備は、取組 No.6「駅西側駅前広場整備」とあわせて実施するとともに取組 No.10「駅舎整備（橋上駅舎）」もあわせて検討。

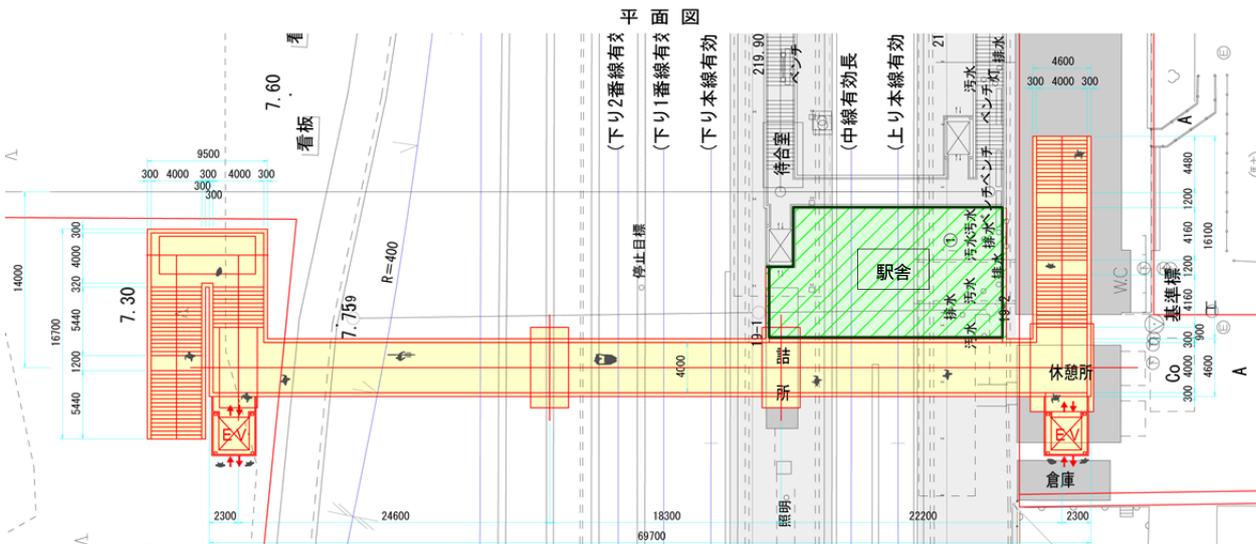
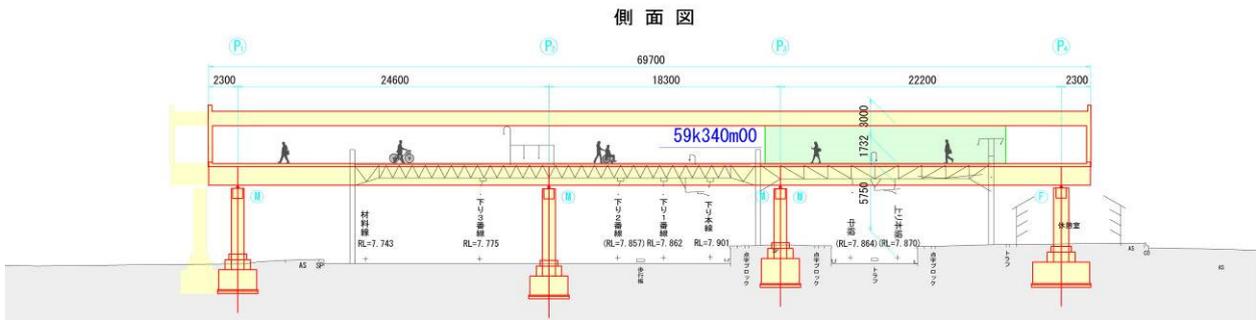
■施策の評価指標

①歩行者・自転車通行量[人・台/日]／②駅東西間の移動にかかる所要時間 [分]

＜参考資料＞

【連絡通路の整備イメージ＜自由通路+橋上駅＞】

<p>主な 特長</p>	<p>[利便性] ○周囲から自由通路が見えるため、利用者にとって通路の位置がわかり易い。 ○駅西側から改札口へアプローチ出来るため、他案に比べ利便性が良い。</p> <p>[景観性] ○周囲からの外観や通路内の内装は、デザイン構成により周辺環境に適した景観性が得られる。 ○窓を多く設けることにより、閉塞感を和らげることが出来る。</p> <p>[維持管理] 採光に配慮することにより、照明費等の維持管理費を安くできる。</p>
------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



【参考：JR 亀田駅】



■基本方針	2. 駅東西の連絡性強化及び移動円滑化	
■施策	a 駅東西を連絡する通路の整備	
■No.	6	■取り組み名 駅西側駅前広場整備
■現況及び問題点・課題		
<p><駅西側の利便性向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・村上駅西側では駅から半径500mの範囲内に約1,000人が居住している。現在、駅西側にはショッピングセンターや病院、自動車学校などの施設が立地しており、駅東側から歩行等による移動の利便性を考慮する必要がある。 ・駅西側は瀬波温泉も近いことから、鉄道で来訪する観光客に対する宿泊施設の送迎や路線バスなどの公共交通による移動の利便性向上が求められる。 		
■施策概要・取り組み方針		
<p><施策概要> 駅西側の駅前広場ロータリーの新設、駅東西の連絡通路整備との連携実施</p> <p><取り組み方針></p> <p>○駅の東西を結ぶ通路の整備にあわせて、駅西側に新たな駅前広場を整備し、一般車両のほかタクシーや乗合バス・観光バス等の乗降場を設置することが望ましい。</p>		

■取り組み内容		
No	取り組み名[仮称]	内 容
6	駅西側駅前広場整備	<p>駅西側における駅前広場の新規整備</p> <p>※駅西側駅前広場の整備は、取組 No.5「連絡通路整備」とあわせて実施するとともに駅舎の橋上化もあわせて検討する。</p>

■施策の評価指標
①駅前広場内のバリアフリー化率[%]／②自転車収容台数[台]

■基本方針		3. 公共交通サービスの利便性向上	
■施 策		a 駅の利便性向上	
■No.	6	■取り組み名	駅西側駅前広場整備【再掲 37p】
■現況及び問題点・課題			
<p><駅西側の利便性向上></p> <ul style="list-style-type: none"> ・村上駅西側では駅から半径 500mの範囲内に約 1,000 人が居住している。現在、駅西側にはショッピングセンターや病院、自動車学校などの施設が立地しており、駅東側から歩行等による移動の利便性を考慮する必要がある。 ・駅西側は瀬波温泉も近いことから、鉄道で来訪する観光客に対する宿泊施設の送迎や路線バスなどの公共交通による移動の利便性向上が求められる。 			
■施策概要・取り組み方針			
<p><施策概要> 駅西側の駅前広場ロータリーの新設、駅東西の連絡通路整備との連携実施</p> <p><取り組み方針></p> <p>○駅の東西を結ぶ通路の整備にあわせて、駅西側に新たな駅前広場を整備し、一般車両のほかタクシーや乗合バス・観光バス等の乗降場を設置することが望ましい。</p>			
■取り組み内容			
No	取り組み名[仮称]	内 容	
6	【再掲】 駅西側駅前広場整備	<p>駅西側における駅前広場の新規整備</p> <p>※駅西側駅前広場の整備は、取組 No.5「連絡通路整備」とあわせて実施するとともに駅舎の橋上化もあわせて検討する。</p>	
■施策の評価指標			
①駅前広場内のバリアフリー化率[%]／②自転車収容台数[台]			

■基本方針		3. 公共交通サービスの利便性向上	
■施策		a 駅の利便性向上	
■No.	5	■取り組み名	連絡通路整備【再掲 34p】
■現況及び問題点・課題			
<p><駅西地区からの村上駅へのアクセス（鉄道横断箇所）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者が駅西地区から村上駅にアクセスするには瀬波温泉跨線橋を経由するルートが最短であるが、エレベーターが未設置のため車椅子の利用は不可能である。岩船街道踏切を経由する場合は、鉄道と平面交差するうえ移動距離が長いほか、一部歩道未設置区間もある。このため高齢者や車いす利用者が実際に利用することは考えにくく、駅西地区の交通弱者が村上駅にアクセスすることは困難な状況にある。 <p><駅東西を結ぶ通路の必要性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、村上駅付近で東西を行き来する歩行者・自転車のための通路は存在しておらず、駅から離れた跨線橋や踏切を利用しなければ鉄道を横断することができないことから、特に歩行や自転車での移動において東西間の連絡に問題があり、周辺住民等の満足度も低い状況にある。 ・将来的に村上総合病院が駅西側に移転する計画もあるが、アンケートでは駅西地区の住民からも「遠回り不便」という声があり、鉄道利用者や駅東口住民等が移転後の病院へ移動するための通路の整備は欠かせない。 ・なお駅構内において通路等を鉄道事業者（JR）以外で整備する場合は、自由通路整備と併せて駅舎の橋上化を基本とし、交通結節点として駅の機能が向上することが条件となっている。 			
■施策概要・取り組み方針			
<p><施策概要> 東西を連絡する歩行者・自転車通路の整備</p> <p><取り組み方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ○村上駅の東側と西側を連絡する歩行者及び自転車用通路を整備することが望ましい。 ○通路整備に際しては、バリアフリーへの配慮などにより利便性や安全性の確保が望ましい。 			
■取り組み内容			
No	取り組み名[仮称]	内 容	
5	【再掲】 連絡通路整備	鉄道を挟んで東西を連絡する歩行者・自転車専用の通路を整備 ※連絡通路の整備は、取組 No.6「駅西側駅前広場整備」とあわせて実施するとともに取組 No.10「駅舎整備（橋上駅舎）」もあわせて検討。	
■施策の評価指標			
①歩行者・自転車通行量[人・台/日]／②駅東西間の移動にかかる所要時間 [分]			

<参考資料>

【村上駅前広場内の歩行者通路】



【亀田駅 東口広場の歩行者通路】



【新発田駅 西口広場の歩行者通路】



■基本方針		4. 都市拠点・にぎわい空間の形成	
■施策		d 商業活性化に向けた取組	
■No.	17	■取組み名	商業活性化のイベントの実施
■現況及び問題点・課題			
<p><新たな賑わいの場づくり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般市民を対象としたアンケートでは、JR 村上駅及び駅前地区を活性化しにぎわいのあるまちにするためのソフト的な取組みとして、「定期的な買物・飲食等のイベント開催」が最も多く、次いで「空き地・空き店舗等の積極活用」、「観光イベントの開催」などの順となっている。 ・村上駅東側では、新潟県村上地域振興局の敷地内において『軽自動車 de ふれあい直売市』が定期開催されているが、今後創出される大規模跡地等を活用して地区の商業活性化にも寄与する取組みや仕掛けづくりが必要と考える。 			
■施策概要・取組み方針			
<p><施策概要> 商業活動の活性化に資するソフト的な取組を実施</p> <p><取組み方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ○駅周辺地区における商業活動の活性化に資するソフト的な取組が望ましい。 ○取組は商店街を中心に他の関連機関と協働することにより、地域に密着しかつ定着するものを目指すことが望ましい。 			
■取組み内容			
No	取組み名[仮称]	内 容	
17	商業活性化のイベントの実施	<p>地元商店街と農協・観光協会等がタイアップし、既存の取組を活かして定期市場等の商業活性化のイベントを社会実験として試行実施。取組効果を評価したうえで継続的な実施を検討。</p> <p>※取組 No.15 「にぎわい創出イベントの実施」との連携実施を検討</p>	
■施策の評価指標			
<p>①イベント開催数[回/年]／②イベント参加者数[人/年]／③イベント開催・参加団体数[団体]／④駅周辺地区内の年間商品販売額[円/年]／⑤地区住民の地区内購買率[%]</p>			

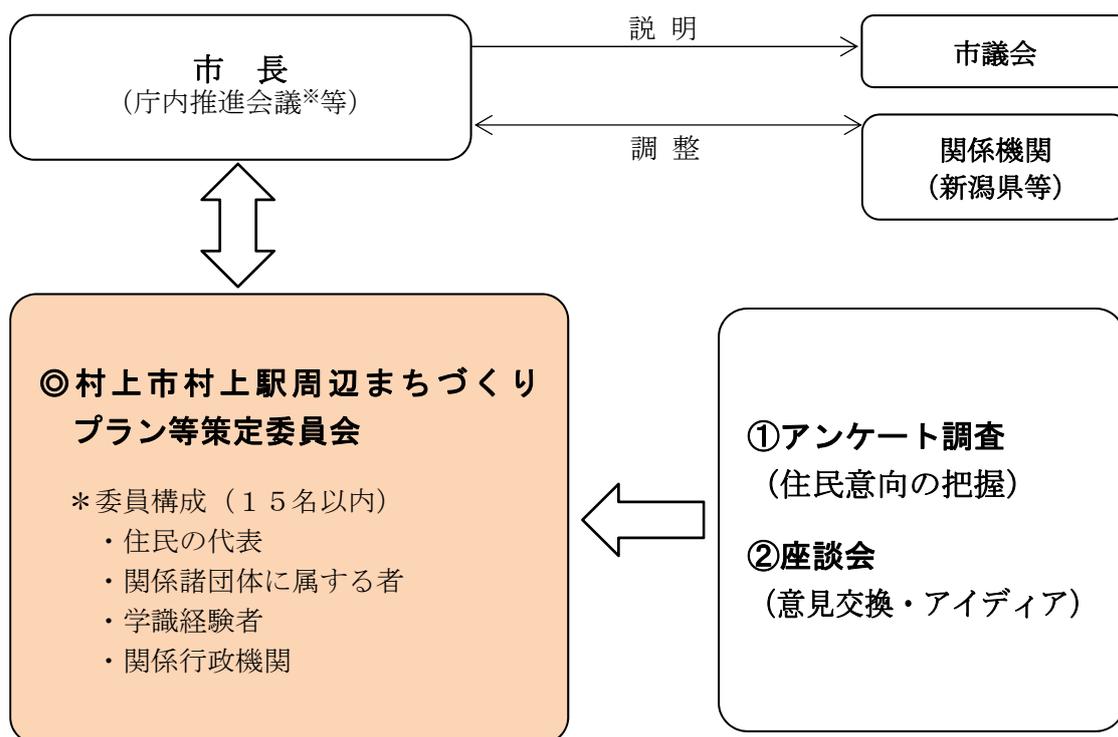
■基本方針	6. 駅周辺地区へのアクセス環境づくり	
■施策	c 駅西口の整備及び乗合バスの利便性向上	
■No.	5	■取り組み名 連絡通路整備【再掲 34p】
■現況及び問題点・課題		
<p><駅西地区からの村上駅へのアクセス（鉄道横断箇所）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩行者が駅西地区から村上駅にアクセスするには瀬波温泉跨線橋を経由するルートが最短であるが、エレベーターが未設置のため車椅子の利用は不可能である。岩船街道踏切を経由する場合は、鉄道と平面交差するうえ移動距離が長いほか、一部歩道未設置区間もある。このため高齢者や車いす利用者が実際に利用することは考えにくく、駅西地区の交通弱者が村上駅にアクセスすることは困難な状況にある。 <p><駅東西を結ぶ通路の必要性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、村上駅付近で東西を行き来する歩行者・自転車のための通路は存在しておらず、駅から離れた跨線橋や踏切を利用しなければ鉄道を横断することができないことから、特に歩行や自転車での移動において東西間の連絡に問題があり、周辺住民等の満足度も低い状況にある。 ・将来的に村上総合病院が駅西側に移転する計画もあるが、アンケートでは駅西地区の住民からも「遠回り不便」という声があり、鉄道利用者や駅東口住民等が移転後の病院へ移動するための通路の整備は欠かせない。 ・なお駅構内において通路等を鉄道事業者（JR）以外で整備する場合は、自由通路整備と併せて駅舎の橋上化を基本とし、交通結節点として駅の機能が向上することが条件となっている。 		
■施策概要・取り組み方針		
<p><施策概要> 東西を連絡する歩行者・自転車通路の整備</p> <p><取り組み方針></p> <ul style="list-style-type: none"> ○村上駅の東側と西側を連絡する歩行者及び自転車用通路を整備することが望ましい。 ○通路整備に際しては、バリアフリーへの配慮などにより利便性や安全性の確保が望ましい。 		
■取り組み内容		
No	取り組み名[仮称]	内 容
5	【再掲】 連絡通路整備	<p>鉄道を挟んで東西を連絡する歩行者・自転車専用の通路を整備</p> <p>※連絡通路の整備は、取組 No.6「駅西側駅前広場整備」とあわせて実施するとともに取組 No.10「駅舎整備（橋上駅舎）」もあわせて検討。</p>
■施策の評価指標		
①歩行者・自転車通行量[人・台/日]／②駅東西間の移動にかかる所要時間 [分]		

第5章 参考資料

第1 計画策定の経過

村上駅周辺まちづくりプラン基本構想の策定に際し、アンケート調査や座談会を実施し、策定委員会での審議、庁内推進会議での検討、調整を図りながら策定した。

■策定体制



※庁内推進会議

村上駅周辺まちづくりプラン基本構想の策定に際し、アンケート調査や座談会を実施し、策定委員会での審議、庁内推進会議での検討、調整を図りながら策定した。

開催日	議 題
第1回庁内推進会議 (平成25年10月10日)	(1) 村上駅周辺まちづくりプラン等庁内推進会議の概要 (2) 村上駅周辺まちづくりプラン策定体制及び策定フロー (3) 村上駅周辺まちづくりプランアンケート調査の実施
第2回庁内推進会議 (平成26年10月22日)	(1) 村上駅周辺まちづくりプラン策定状況について (2) 施策と具体的な取り組み内容(案)について

②開催状況

開催日	議事内容
第1回 (平成26年2月12日)	○まちづくりプランの策定について ・策定の背景、目的、位置づけ、策定の流れ、計画構成(案) ○アンケート調査結果、座談会の実施報告
第2回 (平成26年2月21日)	○まちづくりプラン基本構想の検討 ・現況課題の整理 ・基本方針(案) ・具体的な取り組み(案)
第3回 (平成26年3月17日)	○まちづくりプラン基本構想の検討 ・基本方針(修正案) ※前回を踏まえた修正 ・施策と具体的な取り組み(案) ・病院移転後の跡地で想定される機能と考え方(案)
第4回 (平成26年4月24日)	○まちづくりプラン基本構想の検討 ・施策と具体的な取り組み ※確認 ・病院移転後の跡地で想定される機能と考え方(案) (複数の機能、旧ジャスコ跡地との一体的活用)
第5回 (平成26年6月3日)	○まちづくりプラン基本構想の検討 ・病院移転後の跡地で想定される機能と考え方(案)
第6回 (平成26年7月29日)	○まちづくりプラン基本構想の検討 ・病院移転後の跡地の活用について ・施策と具体的な取り組みの資料構成について
第7回 (平成26年11月4日)	○まちづくりプラン基本構想について ・村上総合病院移転後の跡地の活用について ・施策と具体的な取り組みについて(案) ・村上駅周辺まちづくりプラン基本構想(案) ・今後のスケジュール(パブリックコメントの実施等)
第8回 (平成26年11月14日) 書面審議	○まちづくりプラン基本構想について ・村上駅周辺まちづくりプラン基本構想(案)
第9回 (平成27年2月16日)	○まちづくりプラン基本構想について ・パブリックコメントについて ・村上駅周辺まちづくりプラン(基本構想) ・概要版について ・答申書について